

お客様各位：

2019年5月吉日

碌々産業株式会社



微細加工機をあやつるオペレータは、マニアックな方が多いです。  
昔は汎用旋盤を経験や感性で操って超高精度な加工を実現した人たちを「職人」と呼んでいましたが、現在の微細加工機のオペレータの方達は、デジタルデータを駆使して微細加工を実現しています。  
とてもマニアックな方が多く、世間では「変わり者」とも言われて

いますが、その方達の微細加工への飽くなき追求が、世界中の電子機器等のブレークスルーに繋がっているのだと思います。

碌々は、それらのオペレータの方達をリスペクト（尊敬）の念を持って「*Machining Artist*」と呼ぶことにしました。

日本は物造り立国です。物造りに励む人たち 特に日本が必要としている微細加工技術者にスポットライトを当て、「カッコいい職業である」事を本人のみならず子供達に伝え、将来若者達が成りたい憧れの職業になる事が、普及活動の趣旨です。

*\*超精密加工と微細加工の定義の違い（碌々独自の定義）：*

- 1) 超精密加工：ミクロン台からサブミクロンを狙う加工。*
- 2) 微細加工：超精密加工であり、且つ美しく繊細（高品位\*）な加工。*

*（高品位\* = 例えば鏡面仕上げ加工、バリやマイクロクラックの無い美しい加工等。）*

*\*Machining Artist の定義：その美しく繊細な微細加工を深く追求する人。*